

授業科目	*初年次セミナーⅡ				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	NU10202J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	高橋 甲枝、目野 郁子、新谷 恭明、中原 智美、笹月 桃子							
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーⅠおよびⅡで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。</p> <p>授業は対面授業を行うが、遠隔授業になる場合は指示する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。(DP3-1) 5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 6. 学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。(DP5-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	25	15	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	0	20	23		0	43	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	0	0	0	0	0	15	15	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	0	0	10	0	25	0	35	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	0	0	0	7	0	0	7	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
学生が達成すべき行動目標を達成することができ、主体的に課題を探求し、積極的に提案・行動する姿勢がみられる。				学生が達成すべき行動目標を達成することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	初年次セミナーⅠ から初年次セミナーⅡ に向けて (新谷恭明) (全教員) 研究倫理 (笹月桃子) (全教員)	講義	復習・該当部分の復習	30
2	初年次セミナーⅡ オリエンテーション(高橋) ・シラバス ・評価指標の説明 ・課題レポートの概要説明 課題発見(1) (全教員) 「課題をみいだす」	オリエンテーション GW	復習・該当部分の復習 課題を考えてくる	30
3	課題発見(2)「課題をみいだす」 ・「レポートの設計」(新谷) (全教員) ・課題をグループで見いだす・調べる	講義 GW	次回に向けて個人で調べる ・文献検索し、文献カードを整理する ・文献は印刷してファイリングする	30
4	課題の明確化(1) (全教員) ・グループ項目(章立て)の再検討 ・担当領域を決める ・担当領域の構成を考える	GW 個人ワーク	・グループ項目(章立て)担当領域の文献検索 ・個人レポートの構成を考える	60
5	課題の明確化(2) (全教員) ・各グループで担当領域の課題レポート計画書(アウトライン)について発表を行う ・担当領域についてレポートする(2000字程度)	GW 個人ワーク	レポートはグループ5~6人+教員用を印刷し、学生および教員に配布する。次回までに読み質問を考えてくる	60
6	課題追究(1) (全教員) グループ内で ・討論:レポートについて討論する	GW 討論	討論での意見をもとに図書館で調べ、修正を行う	60
7	課題追究(2) (全教員) ・ブラッシュアップのための調べ学習および修正	個人ワーク	個人の担当領域について修正する 修正したレポートをグループ人数分を印刷する	60
8	課題についてまとめる (全教員) ・討論 ・小冊子作成	GW 討論	復習・該当部分の復習 小冊子の提出	60
9	プレゼンテーション(1) (全教員) ・プレゼンの概要説明(高橋) ・プレゼンの基本スキルを学ぶ(目野) ・質疑応答(笹月) 各グループ内で ・課題発表の準備 ・レジュメを作成する	講義 GW	復習・該当部分の復習 各自、レジュメに対応したppを作成してくる	60
10	プレゼンテーション(2) (全教員) ・課題発表の準備 ・PP、発表原稿作成	GW 個人ワーク	課題発表の準備 ・レジュメ提出 ・各自、PP、発表原稿を作成	60
11	プレゼンテーション(3) (全教員) 各グループ内で ・効果的なプレゼンテーションのための練習	GW	課題発表の準備	60

12	プレゼンテーション(4)-1 (全教員) 教室に分かれて発表	プレゼンテーション	復習・該当部分の復習	60
13	プレゼンテーション(4)-2 (全教員) ・教室に分かれて発表、評価 ・講評	プレゼンテーション	復習・該当部分の復習	60
14	まとめ (全教員) ・振り返り ・ゼミ別 発表動画、他者評価をもとに 振り返り、学びを深める	GW	ポートフォリオ提出	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「初年次セミナーⅠ」で学修した基礎的知識・スキルを振り返り、活用できるようにしておきましょう。			
テキスト	必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。 ポートフォリオにファイリングして、インデックスをつけて整理しましょう。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・溝上慎一著『大学生の学び・入門』有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』くろしお出版 ・新谷恭明・折田悦郎『大学とはなにか』海鳥社 			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none">・健康・医療・看護・社会情勢に関する書物やニュースに興味関心を持ち、課題を発見しましょう。・多様なものの見方で物事を探求する姿勢を養いましょう。・グループワークにおける論理的・批判的思考を用いた積極的な発言を期待しています。
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none">・達成度評価は、レポート 30%、プレゼンテーション 30%、レポート外提出物(ポートフォリオ)25%、その他(グループワーク参加度・グループ貢献度)15%による総合評価割合とし、70 点以上を標準的レベル、90 点以上を理想的レベルとします。・レポートは、構成・内容・テーマにそった一貫性と探求する姿勢を、プレゼンテーションは、パワーポイントの構成、発表態度を、ポートフォリオは整理工夫と提出状況を、グループワークはメンバーとの協力や意見交換など積極的姿勢を、指標に評価します。・評価の指標については、評価シートを配布し授業の中で詳しく説明します。